

開講年次・時期	1年前期	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	4単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	介護過程Ⅰ	担当者名	棟方ナナ子(実務家教員)
授業の概要	全てのケアは介護過程を考えた上で成立していることを学ぶ。介護過程が、対象者のアセスメント、生活場面の観察、ニーズ把握、計画立案、実施、評価、モニタリングまでの一連の思考過程から成り立っていることを理解する。支援を提供する根拠を理解する。				
科目の到達目標	・介護個別援助計画を立案し適切な介護サービスを提供できる能力を養う ・他の科目で学習した知識・技術を総合して介護過程を展開する ・介護過程をケアに生かす意味を理解する				
DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性⑥専門知識・技能				
授業時間外学修 (予習・復習)	テキストの習熟と専門用語を調べる。予習・復習に関してはそれぞれ1時間程度の学習をすること。				
フィードバックの方法	期末試験 課題レポート 提出物について返却する				
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの課題提出を重視する。期末試験で合格基準を満たすこと。授業への取り組みや小テストで定められた基準を満たすことが単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合 (%)	期末試験60% 課題レポート20% 授業内提出物10% 授業内活動10%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする 遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			介護過程意義1 介護過程を理解する	①⑥	コミュニケーションカード
2			介護過程意義2 介護過程と自分自身の関係を理解する	①⑥	コミュニケーションカード
3			介護過程意義3 介護過程の目的・目標を理解する	①⑥	コミュニケーションカード
4			介護過程意義4 介護過程の個別援助計画を理解する	①⑥	コミュニケーションカード
5			「介護福祉士が実践する介護過程とは」	①②⑥	コミュニケーションカード
6			情報と介護過程の関係を理解する	①②⑥	コミュニケーションカード
7			時代背景を理解する	①②⑥	コミュニケーションカード
8			高齢者の生活を理解する	①②⑥	コミュニケーションカード
9			情報の整理方法を理解する	①②⑥	コミュニケーションカード
10			情報収集と根拠の関係性を理解する	①②⑥	コミュニケーションカード
11			「生活支援における介護過程の必要性」	①②⑥	コミュニケーションカード
12			介護過程とICF視点を理解する	①②⑥	コミュニケーションカード
13			情報収集の信憑性を理解する	①②⑥	コミュニケーションカード
14			情報収集の解釈視点を理解する	①②⑥	コミュニケーションカード
15			「介護過程の目的と構成」	①②③⑥	コミュニケーションカード・レポート
16			介護保険を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
17			高齢者と要介護度の関係を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
18			介護保険制度と関係法規を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
19			「介護過程の展開」	①②③⑥	コミュニケーションカード
20			利用者のエンパワーメントを理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
21			利用者のニーズを理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
22			利用者のニーズ抽出方法を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
23			「アセスメント(情報収集)」	①②③⑥	コミュニケーションカード
24			アセスメントと個別の情報収集について理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
25			情報収集と客観性を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
26			情報収集と主観性を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
27			「アセスメント(解釈・関連づけ・統合化)」	①②③⑥	コミュニケーションカード
28			ICF視点の活用を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
29			専門職としての支援を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード
30			専門職として把握する事実を理解する	①②③⑥	コミュニケーションカード・レポート
期末試験			試験		まとめと確認

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第9巻「介護過程」 荘村明彦 中方法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--